

2言語同時習得バイリンガル児の語彙獲得傾向分析 一日馬バイリンガル児ケーススタディを中心に

宇都宮大学 堀尾 佳以

研究目的 日本語とマレー語のバイリンガル児 → どのように2つの言語を獲得？

2言語同時習得過程を記録・分析するケーススタディ 対象=日-馬バイリンガル児（4歳=A1・2歳=A2）2名

研究方法 ① 絵本場面と自由遊び場面

自然談話収録・文字化

② 保育者による語彙出現メモ

③ JCDIs=日本語マッカーサー
乳幼児言語発達質問紙

研究結果 「混用」「干渉」を観察

優勢言語：日本語
少数派言語：マレー語

混用：語彙レベルでのミキシング

A1：今, make 中

A1：じゃあ私がtolong chabuするね

A2：bintang 見て

A2：ijahとkuningのガッチャね

A2：〇〇君,mandi終わった

語彙不足→借用した上で **混用**

マレー語動詞：変化しない
→借用しやすい

聞き手による使い分け

干渉：統語レベルでのミキシング

✕ 虫除けのキティちゃん買ってね A1

○ キティちゃんの虫除け買ってね

✕ 〇〇（名前）の赤ちゃん A1

○ 赤ちゃんの〇〇（名前）

✕ ブーブのijah A2

○ ijah のブーブ

修飾・被修飾の語順 → マレー語

この他の干渉・・・観察×

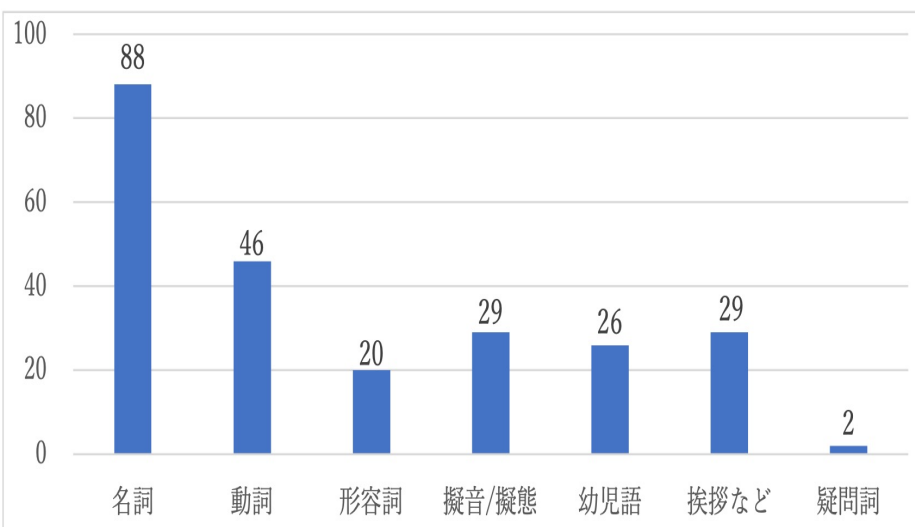


図1. 日-馬バイリンガル児A2の日本語：発出語彙分類（2歳3ヶ月：2021年12月）

参考文献

久津木 文 (2006) 「バイリンガルの言語発達について」『心理学評』, 49 巻, 1 号pp.158-174

福嶋 秩子 (1992) 「二言語同時習得の過程とインプット」『県立新潟女子短期大学研究紀要』, 第29集, pp.21-27

許 佳美 (2000) 「子どもの二言語同時習得における言語的認知要因と環境要因の検討」『京都大学大学院教育学研究科紀要』, 46号, pp.84-95

村瀬 俊樹 (2006) 「子どもの語の獲得における養育者のことばの役割」『心理学評』, 49 巻, 1 号, pp.45-59

李 善 雅 (2011) 「同時バイリンガル幼児の言語習得過程に見られる二つの言語の『混合』と『干渉』」『社会言語科学』, 第13巻, 第2号, pp. 88-96

謝辞

本研究は宇都宮大学工学部若手萌芽的研究助成を受けたものである。